
日本ミルトン協会 会報

Newsletter of the Milton Association of Japan

Web 版 Vol.4 (2012)

‘Storied windows richly dight’

—ホームページのリニューアルに寄せて—

笹川 渉

本年8月20日から24日にかけて、いよいよ第10回国際ミルトン・シンポジウムが開催されます。本来は昨年度に行われるはずでしたが、福島第一原子力発電所事故の影響により、残念ながら延期という結果となったことはご承知の通りです。しかし、佐野弘子委員長のご尽力と内外の声に支えられ、本年度にあらためて青山学院大学で開催することが決まりました。この会報をご覧になる頃には、楽園に集う天使を背景とした緑鮮やかなポスターと、シンポジウムにあわせて開演される、能『散尊』（サムソン）の公演と朗読コンサートについての案内をご覧になった方も多いと思います。上記シンポジウム実行委員会と会員の皆様のご協力あってここまでたどり着くことができました。一会員として深く感謝を申し上げます。

今回のような急な進捗状況の推移をいち早く知るためには、インターネットが一番迅速な情報の伝達手段として活躍します。第10回国際ミルトン・シンポジウムのホームページは、今回の経緯を即座に伝えるとともに、国際シンポジウムと記念行事についての告知を行い、全世界から東京でのイベントの情報へのアクセスを可能としました。ホームページはディスプレイに表示されている以上に、広大な空間と閲覧者をもったメディアとして機能しています。

本協会のホームページも、研究会の情報や *MAJ News* 等の公開を行い、長らく広報活動を行ってききましたが、現在サーバを置いている国立情報学研究所のサービス停止に伴い、4月1日から新たなサーバのもとリニューアルすることになりました。新しいサイトのアドレスを本文末に記してありますので、ブックマークをしていただければと思います。

本協会がホームページを設置する一番の目的は、研究会情報の公開と過去のデータの蓄積であることについて異論はないと思います。しかし、そればかりではなく、ホームページは新たな知的関心をうながす書物であると同時に、人との出会いを可能にする仲介者（メディア）でもあるという面白さも持っています。ミルトン

は『アレオパジティカ』で、「すわり、歩き、旅行し、会談し、見たり聞いたりすることは、書物と呼ぶにふさわしい」と述べましたが、インターネットというメディアを通じて、すわったまま歩くことも旅行することもなしに、海外の研究者との交流を現実にする状況はミルトンも想像していなかったことに違いありません。

ホームページを含む、ネットワーク上の仮想空間のことを「サイバー・スペース」と呼ぶことがあります。‘cyber’は、もともと生物や機械の情報伝達や統制を研究する‘cybernetics’という言葉に由来し、さらにさかのぼると、ギリシャ語で「船を操縦する」ということを意味します。興味深いのは、‘govern’というおなじみの単語も‘cyber’と全く同じ語源であることで、*OED*を引いてみると、英語の‘govern’もかつては「船を操縦する」の意味で用いられていたことがわかります。国家を船に重ねることが一般的であった十七世紀のイングランドでは、国を支配する指導者が、正しい航路をとって国を導くことを念頭に置いていたことが想像できます。ミルトンは「船を操縦する」の意味で‘govern’を用いていませんが、「導く」という意味ならば、『失樂園』第7巻30行目で、ウーラニアに‘still govern thou my song’（常に私の歌を導きたまえ）と祈願している例を思い出すことができるでしょう。

ホームページもまた、閲覧者を導く仲介者（メディア）として機能します。一ホームページ委員として、今後のミルトン協会の発展と、新たな情報や人との出会いを可能にできるよう、コンテンツを充実させていく予定です。そして、画面上をクリックすると、これまでの研究会の足跡が、「物語を描いた豪華に飾られたウィンドウ」のように開かれるページを作成していきたいと思いますので、折にふれてアクセスしていただけますと幸いです。

MAJの新しいホームページアドレス：

<http://www.maj.gr.jp>

日本ミルトン協会 第 6 回 研究会 報告

日時 2011年7月2日(土) 午後3時
場所 青山学院大学青山キャンパス総合研究所ビルディング第17会議室
発表

1. 有江大介 「資本主義はサタニックなシステムか」
2. 笹川渉 「『失樂園』におけるメランコリー」

(出席者 24 名)

日本ミルトン協会第 7 回 研究会および 2011 年度総会報告

日時 2011年12月3日(土) 午後3時
場所 同志社大学室町キャンパス寒梅館5階大会議室
発表

1. 金崎八重 「“Lycidas” における自然」
2. 花田太平 「楽園の所有? ミルトンにおける労働と自然法」

総会 (司会: 圓月勝博)

議事録

1. 活動報告 (西川健誠)

西川事務局長より 2010 年度の活動について報告があり、了承された。

2. 2010 年度会計報告および会計監査報告 (川島伸博、小林七実、小山薫) 川島事務局委員から 2010 年度の会計報告がなされ、小林・小山会計監査委員より、監査の結果、報告の通りであることが確認された。総会出席の会員により了承された。

3. 2011 年度予算 (川島伸博)

川島事務局委員から 2011 年度予算が提案され、総会出席の会員により了承された。

4. 学生会費および会則改正 (西川健誠)

西川事務局長から学生会費を 1,000 円に改正する提案があり、了承された。それに伴い、会則 7(1) を、「会員の会費は年額 5,000 円とする。ただし学生会員の会費は 1,000 円とする」と改正することが提案され、了承された。また、会員から、定年退職者会員の会費の見直しを求める発言があり、今後の検討課題とすることが会長によって確認された。

5. IMS10 への取り組みについて (佐野弘子)

佐野 IMS10 実行委員長から、2011年8月22日から26日まで青山学院大学にて開催予定であったIMS10が延期になった経緯に関して説明があり、2012年8月20日から24日に青山学院大学であらためて開催されることが正式に決定したことが報告され、了承された。

6. 2012年度行事予定について (西川健誠)

下記の通り提案され、了承された。

第8回研究会 7月7日青山学院大学にて開催

第9回研究会 (2012年度総会を同時に開催)

12月8日同志社大学にて開催

(出席者 20名)

日本におけるミルトン研究文献目録 (2011)

岡田善明 「ミルトンと自然——正しき理性の観点から自然法へ——」 『国際関係研究』 第32巻第1号 日本大学国際関係学部国際関係研究所 127-135.

佐野弘子 『劇詩 闘士サムソン』 (翻訳) 思潮社。

Togashi, Go. “Contextualizing Milton’s *Second Defence of the English People: Cromwell and the English Republic, 1649-54.*” *Milton Quarterly* 45: 217-44.

道家弘一郎 「読解『失楽園』」 『聖心女子大学論叢』 117: 5-44.

Nakayama, Osamu. “Milton and Christian Liberty by Theo Hobson” (Book Review). *Expository Times* 123 (3): 144-45.

ナード、アナ・K 『ミルトンと対話するジョージ・エリオット』 辻裕子、森道子、村山晴穂監訳、川島伸博、西川健誠他共訳 英宝社。

水野薫 「<思考>か<衝動>か——ミルトン vs ワーズワス——」 *Asphodel* (同志社女子大学英語英文学会) 46: 44-64.

森道子 「名声と流刑——オヴィディウスの『トリスティア』とミルトン——」 『大手前大学論集』 11: 229-42.

事務局だより

2011年4月30日

IMS10 実行委員会の発表を受け、MAJ 会員に IMS10 の 2011 年 8 月開催断念（ただし付随するイベントは 2012 年度同時期に開催決定）の旨を e メールにて通知。

5月8日

MAJ『会報』3号および2011年度行事予定を会員に送付。IMS10 記念募金の第二回目のお願いを同封。（第7回研究会および2011年総会案内送付時に第三回目のお願いを同封。）

7月2日

第6回研究会、運営委員会（出席者7名）。運営委員会議事録は、以下の通り。

1. 2010 年度会計の報告、および 2011 年度予算の審議。2011 年度予算案より「印刷費」を排し、「HP 維持費」の項を立てる。

9月1日

IMS 実行委員会の発表を受け、MAJ 会員に IMS10 の 2012 年 8 月 20-24 日開催を e メールにて通知。

12月3日

第7回研究会、運営委員会（出席者8名。会計監査2名）。運営委員会議事録は、以下の通り。

1. 2010 年度決算会計監査報告、および 2011 年度予算案
2010 年度決算について、会計監査委員から監査結果が報告される。
2011 年度予算案について、会計担当事務局委員より提案があり、承認された。
2. 2012 年度行事予定
第8回研究会 7月7日 青山学院大学
第9回研究会・2012年度総会 12月8日同志社大学
3. ホームページの移設について
2012年4月より「さくらインターネット」に移設。アドレスは <http://www.maj.gr.jp>（巻頭言参照）

IMS10 本年度開催見送りについて

佐野 弘子

第10回 International Milton Symposium が、2011年3月に発生した東日本大震災と原発事故による一年の延期を経て、やっと本年8月20-24日に青山学院大学にて開催の運びとなりました。日本全体が試練を与えられた中、IMS10 実行委員会も対応と再調整に苦慮いたしました。しかし、当初の内容と規模で開催できることになりましたのは、基調講演者8名全員と発表者の大半が日本開催に対して信頼を寄せてくださり、記念イベントにご出演のアーティストの方々全員がキャンセルなしの順延に同意してくださったお蔭と感謝しております。

ただ、助成を期待していた国際交流基金が政権交代後の事業仕分けの対象になった上に、今後は復興関連のプロジェクトを重視するとの方針でIMS10 が採択されなかったことは実に残念でした。記念募金のお願いを重ねましたところ、ご寄付（ご芳名をMAJのHPに掲載してあります）や様々なご支援に励まされました。MAJ会員の皆さまにおかれましては、一層のご関心をもってご協力いただければ有り難く存じます。

IMS10 と関連記念行事のポスター二種を作成し、既に国内150の大学に発送済みです。学界第一線の基調講演者と17ヶ国約100名の発表者は、シンポジウムの充実を示し、また、新作能と朗読コンサートの内容および一流の出演者は、ミルトンの芸術性の高さを表します。会員の皆さまにも掲示・活用していただけるよう、お送りいたします。なお、日本英文学会後援の名義を追加したポスター改訂版を、近日中にIMS10 HPに掲載いたします。

海外参加者の大会参加登録は3月1日に開始いたしました。国内在住者の登録は4月2日から、会期最終日の旅行申し込みも4月2日からです。大会延期は残念なことでしたが、今春開業の東京スカイツリー見学を90名分子約できましたので、東京観光に楽しみが加わりました。国内在住者のイベントを含めた大会参加登録方法、旅行の予約方法は別紙でご案内の通りですので、どうぞ奮ってご参加くださいませ。

震災復興に取り組む日本において、IMS10 の日本開催の意義が増していると思われます。海外参加者と私たちとの、学術的にも人的にもまたとない交流の機会となるでしょう。なにとぞ一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

計報

本協会会員で秋田大学名誉教授の武田喜代志先生が 2012 年 2 月 1 日にご逝去されました（享年 81 歳）。先生は日本ミルトン・センター創立時からのメンバーで、1975 年から 94 年まで委員（うち 1978 年から 94 年までは地区委員）としてご奉仕くださいました。在りし日の先生のご活躍を偲び、心より哀悼の意を表します。

2009 年度会計決算報告および 2010 年度予算案

（自 2009 年 4 月 1 日 至 2010 年 3 月 31 日）

	摘要	2009 年度予算	2009 年度決算	2010 年度予算案
収入	会費	350,000	333,500	350,000
	前年度繰越金	1,035,273	1,035,273	1,330,338
	雑収入	0	21,961	0
	計	1,385,273	1,390,734	1,680,338
支出	通信費	70,000	37,280	70,000
	印刷費	50,000	0	50,000
	会場費	80,000	21,636	70,000
	振込み関連費	20,000	1,480	10,000
	次年度繰越	1,165,273	1,330,338	1,480,338
	計	1,385,273	1,390,734	1,680,338

基金会計（スーパー定期：5 年）

三菱 UFJ 信託銀行	4,100,000
-------------	-----------

[昨年度会報に誤記がありましたので、あらためてここに示します]

（なお 2010 年 4 月 1 日、IMS10 開催資金として、3,000,000 円を基金から拠出しました）。

2010 年度会計決算報告および 2011 年度予算案

(自 2010 年 4 月 1 日 至 2011 年 3 月 31 日)

	摘要	2010 年度予算	2010 年度決算	2011 年度予算案
収入	会費	350,000	332,500	350,000
	前年度繰越金	1,330,338	1,330,338	1,685,332
	雑収入	0	10,672	0
	基金会計より	0	69,858	0
	計	1,680,338	1,743,368	2,035,332
支出	通信費	70,000	42,656	70,000
	印刷費	50,000	0	0
	HP 管理費			30,000
	会場費	70,000	15,000	30,000
	振込み関連費	10,000	380	500
	次年度繰越	1,480,338	1,685,332	1,904,832
	計	1,680,338	1,743,368	2,035,332

基金会計

ゆうちょ銀行	1,000,000
--------	-----------

基金会計

(三菱 UFJ 信託銀行に預けていた 4,100,000 円中、3,000,000 円を IMS10 に支出しました。残額 1,100,000 円のうち、1,000,000 円を、あらためて基金として、一般会計と同じゆうちょ銀行の別口座に預けました。残る 100,000 円のうち、30,142 円は解約料として三菱 UFJ 信託銀行に支出し、さらに残った 69,858 円は、通常会計にくり入れました。)

日本ミルトン協会規約

1. 名称 本会は、日本ミルトン協会（The Milton Association of Japan）と称する。
2. 目的 本会は、日本ミルトン・センター（The Milton Center of Japan, 1975年7月18日－2008年3月31日）の事業と組織を継承し、ミルトン研究を促進することを目的とする。
3. 事業 以上の目的を達成するために、次の事業を行なう。
 - (1) 研究大会
 - (2) 研究会
 - (3) 広報活動
 - (4) その他
4. 組織 本会は、本会の主旨に賛同する者をもって組織する。
5. 役員 本会に以下の役員を置く。役員を選出については付則に定める。

会長 1 名	事務局長 1 名
事務局委員 2 名	企画委員 6 名
ホームページ委員 2 名	会計監査委員 2 名
6. 機関
 - (1) 総会
本協会の最高決議機関とする。議長は会長が務める。
 - (2) 運営委員会
運営委員会は、本協会の運営に関する事項を審議する。委員長は会長が務める。運営委員会は、以下の役員によって構成する。

会長	事務局長	事務局委員
企画委員	ホームページ委員	
 - (3) 事務局
事務局は、会計、機関誌の発行、その他の事務を担当する。
 - (4) 企画委員会
企画委員会は、研究大会・研究会等の企画を行う。
 - (5) ホームページ委員会
ホームページ委員会は、本協会のホームページの管理・運営にあたる。
 - (6) 顧問をおくことができる。
7. 会計
 - (1) 会費
会員の会費は年額 5,000 円とする。ただし、学生会員の会費は

1,000 円とする。

(2) 会計監査

会計監査は、原則として年 1 回、会計監査委員が行い、運営委員会および総会に報告する。

- 8. 規約の改正** 本規約の改正は、総会における出席者の過半数の賛成によって実施する。

付則 役員を選出

- (1) 会長は、運営委員会の推薦に従って、総会において選出する。任期は 3 年とし、再任を認めない。
- (2) 会長は、運営委員会に諮った上で、役員を任命する。
- (3) 事務局長は、会長が会員の中から任命し、総会において承認する。任期は 1 期 3 年とし、最長 2 期とする。事務局委員は、会長が会員の中から任命し、総会において承認する。任期は 1 期 3 年とし、最長 2 期とする。
- (4) 企画委員は、会長が会員の中から任命し、総会において承認する。任期は 1 期 3 年とし、最長 2 期とする。
- (5) ホームページ委員は、会長が会員の中から任命し、総会において承認する。任期は 1 期 3 年とし、再任を妨げない。
- (6) 会計監査委員は、会長が会員の中から任命し、総会において承認する。任期は 1 期 3 年とし、再任を認めない。

- 9.** この規約は、2008 年 4 月 1 日から施行する。

2008 年 4 月 1 日

2012 年 4 月 1 日改正

日本ミルトン協会 役員および委員

(2012年4月1日現在)

顧問	新井 明	聖学院大学
	永岡 薫	滋賀大学 (名誉教授)
会長	圓月 勝博	同志社大学
事務局長 事務局委員	西川 健誠	神戸市外国語大学
	川島 伸博	龍谷大学
	富樫 剛	フェリス女学院大学
企画委員	桂山 康司	京都大学
	川崎 和基	日本大学
	中山 理	麗澤大学
	野呂 有子	日本大学
	佐野 弘子	青山学院大学
	箭川 修	東北学院大学
ホームページ委員	清滝 仁志	駒澤大学
	笹川 渉	北見工業大学
会計監査委員	小林 七実	(同志社大学)
	小山 薫	同志社女子大学

* () は非常勤講師

日本ミルトン協会 会報
Newsletter of the Milton Association of Japan
第 4 号

2012 年 4 月 1 日発行

編集者兼発行者 日本ミルトン協会
〒651-2187 神戸市西区学園東町 9-1
神戸市外国語大学 外国語学部
西川 健誠 研究室
振替番号 01050-2-24883